



まとまりのある英語を話すための指導における Google Jamboard の効果的な活用方法

(NEW HORIZON English Course 2 Unit 3 My Future Job)

①話・発

①統合

②個・表

②個・学

③タブ

④Google Jamboard

【ここがポイント！】

①「自分の考えや気持ちを整理するための Jamboard の活用」

本単元では、自分の体験をA L Tに伝えるという課題を設定し、生徒は自身の体験を発表スライドにまとめ、発表する。本校の生徒の多くが「まとまりのある英語を話す」ことを苦手としており、自分で文章を構成することが難しい。そのため、事前に作成している英文が書かれた付箋を Jamboard に貼りながら、まとまりのある文章になるように自分の考えを整理していく。

②「教師の個別支援」

生徒一人一人の様子を授業内で確認しきるのは難しいが、Jamboard を使用することで、いつでも生徒の Jamboard (思考)を確認することができ、アドバイスをすることもできる。それをもとに、次の時間に自分の考えに変更を加えることもできる。

【実践の目標】

自分が職場体験学習で体験したことや学んだことについて伝えることができる。また、これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考え、伝えることができる。

【実際の場面】

1. 職場体験学習における体験内容を Jamboard にまとめる。

“Where did you go? What did you do on Career Day? Why did you go there?” という質問に対して各自が考えをまとめる。

2. 職場体験学習を通して学んだことを Jamboard にまとめる。

“What did you feel?” という質問に対して各自が考えをまとめる。



3. 将来の夢について Jamboard にまとめる。

“What is your dream? What do you want to do? Who do you want to be like?” という質問に対して各自が考えをまとめる。

4. 夢の実現のために必要なことを Jamboard にまとめる。

“What do you need to do to realize your dream?” という質問に対して各自が考えをまとめる。

5. Jamboard をもとに発表スライドを作成する。

事前に作成した個人の Jamboard をもとに、職場体験の写真を使いながら、発表スライドを作成する。

6. ペアで発表の練習をする。

作成した発表スライドを使ってペアで発表の練習をし、相互評価をしながら自分の発表内容を改善する。

7. パフォーマンステストを行う。

作成した発表スライドを使って、A L Tに自分の体験を発表するとともに、その内容に対してA L Tや友人から評価を受ける。

【成果と課題】

【成果】

○生徒が発表スライドを作成する活動を通して、何から考えればよいのか、何を伝えればよいのかなどについて、理解を深めることができた。また、Jamboard を使うことで、自分の考えをまとめやすくなることに気づくことができた。

○授業内のみの支援だけでなく、授業以外の時間においても、生徒の Jamboard を確認し、アドバイスをすることができた。

【課題】

○作成した Jamboard の内容を「線 (文全体)」ではなく「点 (一文)」で認識している生徒もあり、そのような生徒への更なる支援が必要であると感じた。